

# たいない

議会だより

No. 38

平成 26年 5月 1日

こばやし まな  
【題字】小林 愛 さん



乙総合福祉センター



産業文化会館

**市民と議会の意見交換会を  
5月16日(金)午後7時から開催いたします。**

※詳しくは、裏表紙をご覧ください。



築地農村環境改善センター



黒川地区公民館

第1回定例会概要

2～ 3ページ

会派代表質問

4～ 8ページ

一般質問

9～13ページ

4常任委員会審査

14ページ～

予算審査

16ページ～

平成 26 年 2月24日～3月18日

# 第一回定例会 概要と議決結果

## 平成26年第1回定例会議決結果

第1回定例会で審査された議案		議決結果 ※1	菅原市永	天木義人	薄田智	森田幸衛	松浦富士夫	高橋政実	佐藤秀夫	八幡行雄	渡辺俊	桐生清太郎	新治ひで子	花野矢次兵衛	富樫誠	小林兼由	赤塚タイ	松井恒雄	丸山孝博	賛成 ※2	反対 ※2	
<b>平成26年度予算</b>																						
一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1
国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
黒川診療所運営事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
公共用地先行取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
観光事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
地域産業振興事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
鹿ノ保発電所運営事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>平成25年度補正予算</b>																						
一般会計補正予算（第6号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
観光事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
地域産業振興事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
鹿ノ保発電所運営事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
公共下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>条例の一部改正</b>																						
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
長寿顕彰条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1
黒川診療所条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
黒川診療所勤務医師の旅費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
市営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
胎内畜産施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
学校給食運営委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>その他</b>																						
土地の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>請願</b>																						
「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書提出に関する請願	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	2	15	
<b>議会提出議案</b>																						
<b>条例の一部改正</b>																						
議会基本条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0
<b>決議</b>																						
県立坂町病院の活性化に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0

※1 「可決」：全員賛成または、賛成多数により可決されたもの。（専決処分については「承認」）  
 「否決」：賛成少数または賛成なしにより否決されたもの。（請願については「不採択」）  
 ※2 議長は地方自治法により表決には参加しないため、表決に参加する全議員数は17名です。

平成26年 5月24日～5月18日  
**第一回 定例会**  
**概要**

本定例会で審議された議案は、平成26年度当初予算14件、25年度補正予算10件、条例改正12件、土地の取得について1件、市道路線の認定について1件、報告5件と、最終日に追加議案として補正予算1件、報告2件、議員発議2件でした。(審議内容14～21P)

補正予算、条例の改正等の審議は総務文教・厚生環境・産業観光・まちづくりの各常任委員会4日間にわたり審議された。

当初予算審議は、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置して、一般会計・特別会計・企業会計ごとに3日間おこなわれ、いずれも可決すべきと決定した。

本会議最終日の採決では、当初予算6件、長寿顕彰条例の一部改正について、討論が行われたのち起立採決をおこない賛成16反対1の賛成多数で可決。特定秘密の保護に関する法律の廃止を求め意見書提出に関する請願についても討論が行われたのち起立



採決をおこない賛成2反対15の賛成少数で不採択。他の議案は全会一致で可決された。

会派代表質問は、年一回、第一回定例会において、施政方針や政策についての質問を行う事がで

き、政和会・志政会・緑風会・公明党・日本共産党の5会派の代表が質問に立った。また、一般質問には5人が立ち、それぞれ市政全般に対し市長・教育長に質問した。

**総務文教常任委員会  
 閉会中所管事務調査**

**胎内市の小・中学校の教育の現状と課題について**

当委員会では、去る1月29日水曜日午後1時30分から5時の半日にわたり、「胎内市の小・中学校の教育の現状と課題」と題して常任委員会を開催した。

始めに、中条中学校を訪問し、高橋校長の概要説明を受け、その後、一年生から三年生、そして特別支援学級まで13クラスの授業を視察した。印象に残ったのが、校舎内が思ったより整理整頓されており、綺麗だったということ。また、どのクラスも男女が仲良く机を並べて楽しそうに勉強している姿が印象的でした。特に三年生の授業では「胎内市の町おこし」をテーマに生徒の自由で夢のある発想には感心した。

その後、場所を市役所の委員会室に移し、教育長、学校教育課長、高橋管理指導主事、そして市内の小・中学校長9人出席を求め、各校長から、それぞれの学校の取組みや課題について報告を受けて、質疑応答、意見交換を実施した。

主な内容としては、「いかにして学力を向上させるか」「ふるさと体験をさせ地元愛を植え付けるか」「学校と地域の連携をいかにして深めるか」「子どもにいかに生きる力を教育するか」「いじめや不登校への対応をどうするか」などについて真剣に話し合った。

まとめとしては、家庭と学校、学校と地域、小学校と中学校、学校と行政が課題を共有しいかに連携を取り問題を解決するか。そして、今以上に子どもに関心を持つて取り組んでいくことが大事であることを委員会で確認した。

(文責 薄田 智)



政和会



富樫 誠 議員

# 学校いじめ防止基本方針を 条例化すべきでは

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**議員** いじめ等で学校へ登校できない児童生徒を抱える家庭では、本人はもとより、親を始めとして家族全員、本当に苦しく、切ない日々を送っている。

安全、安心を掲げる胎内市において、将来を担う子供たちが、いじめ・体罰・不登校などの不安から十分守られているとは言えない。

胎内市からいじめ、不登校をなくす為に、市民一丸となって取り組む「学校いじめ防止基本方針を条例化」すべきではないか。

**市長** 児童生徒に対する指導上の問題について迅速に対応する為、教育委員会からの要請により、H26年度は指導主事を1人増員し、4人体制で対応したい。学校と家庭との情報交換が十分でなかったり、対応が適切でなかったりした場合、問題が長期化、複雑化して信頼感を醸成できない例も聞いている、教育委員会においてはこれまでの事例を十分精査検討いただきたい。

県議会2月定例会でも、いじめに対応する対応や防止を図る為の体制整備に関して条例化する方向とのこと、市としても、これらを参考にし、教

育委員会と連携を図りながら条例化について協議、検討していきたい。

## 農業振興に対する 取り組みは

**議員** 5年後を目途とした「新たな米政策のあり方」が国から示された。これはTPP問題とともに胎内市農業の将来に大きな変化をもたらす改革である、市はどんな決意と体制で臨むのか。

**市長** 人口減少、高齢化社会が進展する中、水田をはじめとした農業生産資源を最大限活用し、需要に応じた生産を行い従来以上に一般消費者の皆様へ国産はもとより、地元産の農作物を積極的に取り入れるよう国県と歩調を合わせながらホームページや市報で情報を発信する。

新生JA胎内市に加え、新発田地域振興局とも連携を図り、市内の園芸を含む作物の振興を図るべく、3者の定期的な検討会を開催する方向で協議をしている。

## その他の質問

- ・ 総合政策課のあるべき姿は
- ・ 城の山古墳の名称について



志政会



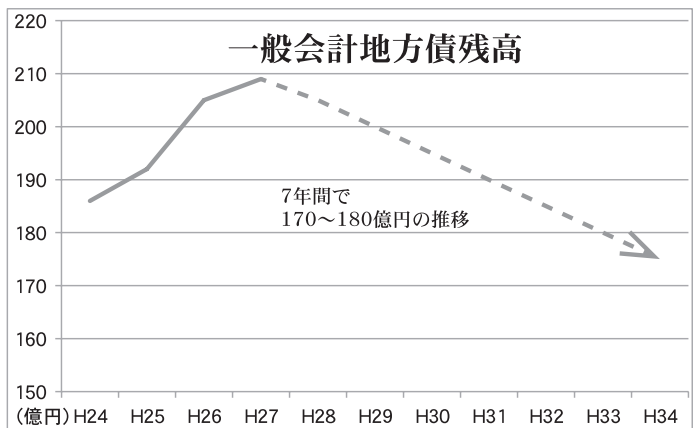
高橋 政実 議員

# 財政健全化について

**議員** 前年比13%強増の予算となっており、建設計画の大事業が背景と察する。しかし地方債残高はH24年度186億円、H25年度192億円、H26年度見込み205億円と増え続けているが、今後起債残高解消スケジュールをどの様に立てていくか。又実質公債費比率の推移をどう見ているか。

**市長** 一般会計の起債残高はH27年度まで増加するものと考えている。その後は、投資的経費及び起債借入を極力抑えることで減少していくと見込んでいる。

実質公債費比率の推移については、主に交付税措置の大きな合併特例債を借り入れることを考慮し、公共事業の起債借入れを計画的に行うとして、今後7年間程度の中期的な推移におき18%を超えないものと見込んでいる。



## 防災関連について

**議員** 堀川と胎内川河口が、冬場の砂の堆積で河口がせきとめられる状況が発生しており、海抜の低い地域が気がかりである。胎内川河口の恒久的改良計画を伺う。

**市長** 漂砂による河口の閉塞を防ぐ一つの手法として、河口に河川の流れや土砂の移動方法を導くための導流堤の設置がある。しかしこれには費用と時期を要し、海岸に土砂が流

れ着かなくなり海岸浸食が進むおそれもあることから、河口閉塞対策として堆積土砂の掘削を引き続き実施していく予定である。

## 自然エネルギー施設の活用

**議員** 浜に風力・平場に太陽光、山に水力有り、エコエネルギーの街胎内として売り出してはどうか。

**市長** 例えばエコネットワークを組織し、環境教育、環境学習の推進や地域産業おこし、エコツーリズム、観光の振興、循環型の地域社会づくりなどの方策を検討する。



風力発電

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

緑風会



薄田 智 議員

# 胎内市総合計画 について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**議員** 現在の本市のまちづくりの最高位の計画である第1次総合計画の進行管理状況と次期総合計画策定と併せて議会との関わりについて。

**市長** H25年度、54全ての施策について行政評価を実施し、検証のうえH26年度以降、施策展開を行っている。次期計画はH28年度に策定し、議会にも所要所所に示し、意見を頂きたい。

## 『市民憲章』と『胎内市宣言』について

**議員** 本市に、市民憲章と7つの宣言があるが、今後の検証は。また、『子育て応援都市』と『米粉発祥のまち普及促進』の新たな宣言の考えは。

**市長** 今後も道しるべとして、現在のものを受け継ぎたい。新しい宣言は、市民や議会と議論し、検討していく。



中条すこやかこども園入園式

## 新総合体育館建設について

**議員** 竣工まであと2年しかない。総事業費は22億円で、市民一人当たり7万円である。市民の多くが魅力ある設備を期待している。進捗状況は。

**市長** 現在、設計の最終段階、今後は市報やホームページでPRし、市民の声も取り入れ進めていく。

## 子どもたちに夢を持たせ実現させる体制づくりについて

**議員** 村上一中の平野君が五輪銀メダルを獲得した。本市においても大きな夢や目標を持たせ、それに向かってサポート体制が必要と考えるが。

**教育長** 教育委員会、学校、体協、スポ少、わくわくしたいの連携が重要と考えている。



開志国際高等学校入学式

## その他の質問

・財政の健全化について

公明党



新治ひで子 議員

# 子育て支援の 取り組みについて



きすずげ乳児園と黒川保育園

**議員** ①「病児・病後児保育」の取り組みは。②里帰り県外先で、市の予防接種の助成制度が受けられないか。③幼児が元気に走り回る遊び場として「体育館開放日」を設けられないか。④「きすずげ乳児園」と「黒川保育園」の両方を利用している保護者のために、2園を繋げる通用路を設置すべきでは。

**市長** ①医療スタッフや保育士の配置等、対応は難しい。②受託医療機関との信頼関係に配慮して結論づけたい。③検討したい。日本条小学校

の体育館の利用は、B & G 体育館事務所に電話して可能。④保護者のニーズを聞き、管理運営面等協議したい。

## 教育環境の向上は

**議員** ①あいさつ運動を広げるため

の地域との共同は。②乙、黒川、築地地区は、保育園から中学校まで人間関係が固定化しかねない。地域性を活かした取り組みや他校との交流は。③中高生で増加している深刻な「ネット依存」防止の取り組みは。④中条中学校の校舎内の環境整備は。⑤黒川小学校のプール改修計画は。

**市長** ①あいさつの日の設定、あいさつキャラバン隊の結成など、市を挙げての運動となるよう機運を盛り上げたい。②地域全体で児童生徒を見守る活動の展開、積極的な学校間の交流活動を行う。③専門家による指導の機会を設定する。保護者にも危険性や注意喚起を行い、関係機関と連携して取り組む。④財政状況等を勘案し、順次計画的に対応する。⑤当分の間、保守点検と水質点検を実施し、計画的に改修等をする。

## 介護ボランティア 事業の取り組みは

**議員** ①地域包括ケアシステムの構築のための取り組みは。②介護ボランティア事業に取り組み考えは。③「安心の高齢者住宅」を市営住宅敷地内に建設する考えは。

**市長** ①在宅医療介護の推進、認知症施策の推進、地域ケア会議の充実など取り組みを進めている。②介護ボランティア事業を生活支援・介護予防充実のため取り組み、第6期介護保険事業計画に盛り込みたい。③様々な角度から活用方法を検討したい。



介護ボランティア事業の取り組みは

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 今こそ、 TPP参加阻止の行動を

日本共産党



丸山孝博 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



**議員** TPP交渉をめぐる攻防は、市民の暮らし、産業を守る政治が強めるのか、それとも放棄するか、重大な正念場を迎えている。にもかかわらず、市長の施政方針には、TPPという言葉が一言もない。今こそTPP参加阻止の声と行動を起こし、関係諸団体等との連携した強力な取り組みで、市民に伝わる姿勢が求められているがどうか。  
**市長** TPP加入による関税撤廃の影響は、地域産業全体の問題であり、全国市長会等を通じて重要5品目を関税撤廃の対象から除外することなどを求めている。

## こどもの医療費助成の拡充を

**議員** 新年度から子どもが3人以上いる世帯に対して、高校卒業まで助成を拡充することにしたが、子どもが1人ないし2人の世帯は、中学校卒業までに据え置かれたままである。子どもが3人以上の世帯は、子どもの数では全体の2割にすぎない。子どもの数で医療費助成を差別するのは問題だ。

なぜこのような助成の仕方なのか。子どもの数に関係なく、すべての子どもたちが高校卒業まで助成を受けられるよう拡充すべきではないか。

**市長** 新年度は試行的に実施する。9月以降は県も市町村が1子及び2子に対する助成を拡充した場合、助成することが示されているが期間限定でなく、継続的な実施を期待している。

**議員** 県は市町村が1子及び2子について高校卒業まで医療費の助成を拡充した場合にその一部を助成するとしている。しかし、やらないので県の助成を受けられない。市として県の事業に呼応すべきではないか。

**健康福祉課長** 早ければ9月の時点で方向転換を行って、1子、2子についても拡充を図っていく考えである。

**議員** そうすると、9月以降すべての子ども達が高校卒業まで医療費助成を受けられることで、6月議会条例改正することで理解してよいか。  
**市長** 市長会でも議題になったが、市としては9月から実施で6月議会に情報をみながら出したいと思う。



## その他の質問

- ・人口透析導入者抑制のため、腎臓病予防の啓蒙と交通費助成額の拡大を。
- ・視覚障害者に地デジ対応ラジオの支給を。





渡辺 俊議員

# 防災について

**議員** 各地で防災士の養成が取り組まれているが、当市の認識、対応は。

**市長** 自主防災組織や自治会において防災活動のリーダー的役割を担う人材であり、防災士の育成が地域防災力の向上に有効で、必要であると考えているが、その前に自主防災組織の加入世帯率の底上げが最優先課題であると思っている。

**議員** 市内で防災士の資格がある人は。

**市長** 昨年の9月に採用した長谷川防災専門員の1名しか把握していない。

**議員** 防災専門員のこれまでの成果は。

**市長** 災害対応全般の技術向上を図るため、中越地震や東日本大震災で災害派遣された陸上自衛隊OBを採用し、地域防災計画の更新作業や災害時要援護者避難支援プラン、職員災害対応ハンドブックの作成など、各種計画等の見直しや作成作業の中心となっており、知識や経験を十分に発揮して、新発田市の陸上自衛隊第30普通科連隊との連携強化を図ることができ、災害対応全般に成果が表れている。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**議員** 防災専門員は2年の任期付き職員ということだが、スムーズに更新して今後も自衛隊と繋がりを持つていくべきでは。

**総務課長** 専門員の仕事の活動の仕方等々、よく把握して議員指摘のような方向で考えていく。



防災無線

**議員** 危機管理室設置に対する現在の考えは。

**市長** 財政健全化計画や定員適正化計画等を総合的に勘案するとともに、自主防災組織の育成状況、災害時における対応状況や防災専門員の成果等も考慮した中で、必要かどうか判断していく。

**議員** 遠野市を視察して、元総務大臣の片山善博氏の基調講演を拝聴し、鳥取県知事就任時に防災対策の見直しで防災専門の部署を創り、その後の西部沖地震に有効に役立ったことを知り、危機管理室の重要性が認識されたが、当市も設置すべきでは。

**市長** 鳥取県の片山知事だが、末端の市町村もそのような考え方で今臨んでいるかと思うし、緊急体系は確立しなければだめだと思っているので、その点十分これから総務課長を中心にした組織体系を確立していく。



岩手県陸前高田市役所

## その他の質問

- ・観光について
- ・行財政について

# 下越地区広域観光の 組織づくりの考えは！



赤塚タイ議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

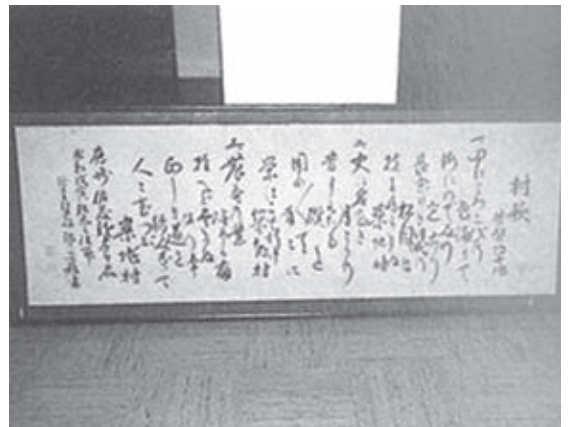
**市長** 交流人口増加の取り組みは大変重要、阿賀北地区における連携強化を図り魅力ある観光資源を活用し広域観光プランの企画に取り組み市内に於ても観光宣伝活動の強化に取り組み誘客に努める。

**議員** 外国人観光客の受け入れ体制整備とボランティアガイドについては。

**市長** 外国人が喜んでいただける取り組みを行い、来訪者も分かりやすい案内板に英語等の整備を進めたい。海外経験のある企業職員、中・高校生を対象に研修し、観光ボランティアガイド等協力をお願いしたい。

**議員** 築地村民の魂が込められている村歌の扁額を文化財保護審議会に諮問できないか。

**市長** この扁額は国学院大学学長芳賀矢一博士作詞、海軍の池辺安雄中将の書である。貴重な書なので大切に保管してほしい。文化財指定は都岐沙羅の柵が明らかになった段階で考えたい。



築地で歌い続けられている村歌

## 財政問題について

**議員** 地方交付税の合併算定額46億円はH27年度で終わりその後5年間段階的に7億円縮減、H33年から本算定39億円となる。資金不足も考えられるが財政上どのように捻出するのか。

**市長** 人件費の縮減、事務事業の見直し、施設の効率的な運営、行財政のスリム化を徹底して行う。

**議員** 具体的な内容は。

**副市長** 定員適正化計画に基づき約40名職員減、民間人も含め事務事業の検討会等で意見を伺う。

**農林水産課長** 事業削減で乳製品等の加工部門自主運営で約3千万円減、黒豚肥育部門廃止により約2千万円減となる。

**議員** 第一次マスタープランは補正で委託料増額、第二次胎内リゾートの目標値が示された。数値を示す以上そこに魂がほしい。私がお願うことはそこに親方日の丸と言っ甘い構図がないかということ。職員一人一人が厳しい経営感覚を身につけ運営することを強く望む。

**市長** 指定管理料は年々改善が図られ、いろいろな取り組みを市と協働して具現化する。



旧黒豚肥育施設



天木 義人 議員

# 大日川 改修工事について



大日川

**議員** 現在、改修工事が菅田橋まで計画されているが、その先の計画は、

**市長** 菅田橋より上流については、計画されていない。今後関係集落と協議を行い、県に要望していく。

**議員** ヘド口が大日川及び周辺河川の川底に厚く堆積していて、水生動物の繁殖にも影響が出ている。ヘド口の撤去計画は。

**市長** これらを取り除くことは河川管理上大きな課題であると思っっている。大日川及び支川については、一部河底掘削や木の伐採をしているが、十分な管理とは言えない状況である。現地を確認して県と共に対策を講じたい。



**議員** 資材、人手（専門工事業者）等の不足が懸念されているが、市の大型設計画への影響は。

**市長** 現段階においては、建設時にどのような影響が出るか予測できない部分もあるが、国の対応や建設業界の動き等を見ながら適切に対応して行く。乙地区の交流施設の建設については、国の森林整備加速化・林業再生事業の活用を予定している。木造建築でH26年度中の完成で、これから契約を予定しており、市と受託者及び地域の木材供給者と協議を行い進めていく。

## 公共工事について

**議員** 融雪工事で履行期限が2月中旬や3月中旬になっているが、工事期間の変更はできないものか。



**市長** 当初予算では道路融雪施設工事は9件であり、その後の補正予算で新規に5路線を計上。当該工事については降雪期までに完成するように契約しているが、履行期間が2月中旬と3月中旬の2路線については、工事自体は12月に完了し散水開始する予定だったが、震災復興工事などの影響で資材の納入が遅れ、降雪期に間に合わなかった。今後このような事態も想定し、事前に調査と計画的な発注をする。

## その他の質問

・少子化対策について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 国保税収納率は



松浦 富士夫 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

**議員** 医療費が増加し、国民健康保険税を圧迫しているが、市の、国民健康保険税収納率と県内で何番目の収納率か。

**市長** 現年課税分の収納率は、H23年度94・62%、H24年度95・33%。県内、14位で中位に位置している。

**議員** 市が、実施している特定検診、各種がん検診の受診率は、

**市長** H24年度、特定検診42・3%、がん検診は、肺がん48・3%、胃がん11・9%、大腸がん18・4%、子宮頸がん14・7%、乳がん24・3%になっているが、国が示すがん検診受診率は50%以上になっている。今後受診率向上を目指していく。



保険者証

## 農泊受け入れは

**議員** 本年7月に東京から農業体験で中学生が訪れるが、現況で農泊受け入れは大丈夫か。

**市長** 現在受け入れ登録数は約80戸あるが、家庭の事情等で受け入れ可能世帯は40戸あまりで、7月に予定している東京からの中学生受け入れには約60戸の確保が必要で、あと10数戸不足している状況。できるだけ早い段階での確保にむけ、受け入れに協力いただけるよう周知を行っていく。

**議員** 米粉を使用したお菓子などで食育体験もできると思うが。

**農林水産課長** 学校の教育課題で食育があればメニュー化していく考えは持っている。

## 少子化対策について

**議員** H26年度、保育園へ入園できない未満児待機数は、

**市長** 未満児待機児童はいない。

**議員** 11月の入園募集締め切り以降に生まれた未満児の受け入れは、

**健康福祉課長** 年度途中

の保育は、全てを受け入れるところまでには至っていないが、今後も、公立、私立と密に連携を取り待機者がいないよう、努めていく。



中条すこやかこども園



菅原市永議員

# H30年度に減反廃止 とした新たな農業・ 農村政策について

## ～4つの改革～

農地中間管理機構の創設  
経営所得安定対策の見直し  
水田フル活用と米対策の見直し  
日本型直接支援支払制度の創設

**議員**

我が国農業における担い手の農地利用は全農地の50%を占め、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の拡大などの課題が生じており、構造改革を加速しているが、本市の現状は。

**市長**

担い手・営農組織の集積率は62・6%、従事者の平均年齢は55・8歳（H22・4・1の農業センサス）基幹的従事者65・4歳、放棄地85・6ヘクタール。

**議員**

「農林水産業・地域の活力創造プラン」として、4つの改革案が示された。本市の農家が改革メリツトを享受する方策は。

**市長** 2月6日に北陸農政局の方による講演会の開催。3月27日に農家組合長会議を開催する等きめ細やかな対応を図る。

## 少子化対策事業について

**議員**

一人でも多くのカップルが誕生し、結婚が成立することに期待し、若者交流事業・ブライダルアドバイザリー事業の内容について。

**市長**

近隣市町村の範囲にとらわれず、新たに笛吹市・鶴岡市と協議し、交流しやすい、参加しやすい企画を市民に提供していく。良縁が結ばれることをサポートする場所を設け、人を配置し、取り組むべき価値の高い施策としてスタートする。



## 株式会社胎内リゾートの経営状況について

**議員**

H25年度、新たに株式会社M&Mを迎え活性化に取り組んでい。H25年度当初の委託料6,200万円であったが、今定例会において、スキー場が少雪のためとの理由で5,000万円の専決処分議案が提出されたが、決算時期半ばであるが、各施設の見込み収支について。

**市長**

ロイヤル胎内ホテル9,100万円の赤字見込み、そば処みゆき庵100万円の黒字見込み、奥胎内ヒュッテ1,907万円の赤字見込み、フィッシャングパーク467万円の黒字、スキー場500万円の赤字見込み、5施設合計での収支は1億940万円の赤字見込み。

## その他の質問

・農業集落排水事業の接続について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 総務文教

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

「消防団の団長、副団長、分団長、副分団長の任期を2年とする。消防団員が転出した場合、なおも活動に支障が無ければ任用または継続できる旨を追加」

**質問** 人員不足ということは、待遇を改善していけばいいのではないか。

**答弁** 今現在、団員から費用弁償の増額要望はないが、そういう話があったら十分検討したい。

**質問** 現在、団員の充足率は何%か。

**答弁** 条例定員722名、実数743名で29人少ない。充足率は約96%になる。

# 厚生環境

長寿顕彰条例の一部改正

「これまでの高齢者の顕彰の在り方を見直し、長寿の節目の顕彰として、スリム化を図るもの」

**質問** 現在の対象人数と改正後の対象人数は。またピーク時は何人位か。

**答弁** 現行条例では約1,600人。改正後は約600人と予測し

ている。高齢化のピークは、15年後の2030年と推計している。一概には言えないが7000〜8000人のレベルに達すると考えている。

**質問** 1,600人から600人に減った分の金額はどういう形で高齢者に配分するのか。

**答弁** 700万円程度の歳出減を見込んでいます。長寿顕彰は所得に關係なく渡してきたが、民生費が対前年比4%の伸びが生じているので低所得層の高齢者や障がい福祉に手厚く行き渡らせていきたい。

**質問** これまで表彰してきた89、98歳がなくなるわけだが、何人か。

**答弁** 約900人である。



敬老会

# 産業観光

畜産施設条例の一部改正

「H21〜H25年度まで新潟県から借り受けていた旧種豚改良センターで黒豚事業を実施していたが、今年度限りで事業を廃止し、新潟県に施設を返還する」

**質問** 地域の活性化、他産業への波及効果はあったのか。

**答弁** この事業は当初、地域の種豚農家が子取りをし、ある程度肥育をして、それを村で買上げて大きくしてハムを作り、ホテルやビール園で活用していた。黒豚という特性からおいしいが、生まれてくる子豚の数も少ないし、出荷できるまで時間が掛かり、その分工サ代が掛かるので生産効率の点で難しかった。

# まちづくり

市営住宅条例の一部改正

「S37〜42年度にかけて二葉町地内に建築された市営住宅を、建物の老朽化により用途廃止のため削除新たに市営住宅6号棟脇に整備した市営住宅第6駐車場を加える」

**質問** 鳥坂団地の整備はこれで完了と理解してよいか。

**答弁** これで完了であり、跡地の

関係で二葉町の地区の方と協議、検討している。

**質問** 今回整備した駐車場は何台分か。

**答弁** 今住んでいる方の居住用関係が10台分、来客用9台分、福祉関係で社会福祉協議会が使う分が1台分、合計20台分である。

**質問** 一般の人からの駐車料金は、どういう計算になるのか。

**答弁** 駐車料金は月2,300円。

**質問** 1世帯で何台も持てるのか。

**答弁** 入居する前に原則1台としているが、夫婦で働いているので必要だという相談はある。



市営住宅6号棟脇駐車場

# 討論

議第28号 16対1で可決

請願第1号 2対15で不採択

## 反対討論

丸山 孝博 議員

敬老祝い金を「画一的、一律であった高齢者の顕彰のあり方を見直し、長寿の節目節目の顕彰としてスリム化を図る」という口実で、バツサリ対象人数、祝い金を削除するものであり、断じて反対する。

対象となる人数を1,600人から600人に、1千人も削減、祝い金は700万円も削減するという、お年寄りに冷たい福祉切捨ては許さ

## 議第28号 長寿顕彰条例の一部改正

## 賛成討論

松井 恒雄 議員

これまでの条例は戦後の復興期から高度成長時代に制定された、画一的で高齢者に一律に長寿顕彰を行ってきた条例であった。

日本は現在、急速に少子高齢化が進展しており、これまでの顕彰条例は時代のニーズにそぐわなくなってきたり、人口減少により少子化

対策に力が移りつつある。

この度の一部改正案でも節目節目に長寿顕彰が盛り込まれており、尚、県下でも最高水準を維持している。限られた予算の再配分の中、今後の少子高齢化福祉政策にも充分反映させた改正であり賛成する。

## 反対討論

新治 ひで子 議員

この法律は、我が国及び国民の安全のために、国家の安全保障上必要な情報の漏えい防止のための法律。その対象者は、「特定秘密の取扱者」である公務員で、一般国民ではない。この法律で政府が指定できるのは、「防衛」「外交」「スパイ活動」「テロ防止」の4分野に限定。衆議院で45時間、参議院で20時間以上の審議の上採決し、賛成多数で可決成立。日本の安全保障環境が厳しさを増している中、防衛や外交に関する機密、

例えば国際テロ活動の情報や兵器の性能、外交の暗号など安易に漏れたら日本の国は持たない。第22条には「国民の知る権利の保障に資する報道又は、取材の自由の十分に配慮しなければならぬ」と明記。チェック機関として、仮称「情報保全諮問会議」「情報保全管理室」等の第三者機関を設置。保存期間経過後の情報は、すべて国立公文書館で公開される。以上の理由から反対である。

## 請願第1号 特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書提出に関する請願

## 賛成討論

丸山 孝博 議員

昨年末の臨時国会で、安倍内閣と自民党・公明党は、国民世論を真っ向から踏みにし、暴挙に暴挙を重ね秘密保護法を強行成立させた。

秘密保護法は、政府の判断によってどんな行政情報も恣意的に「特定秘密」と指定され、事実上永久的に国民に隠し続けることができる法律で「何が秘密かは秘密」だとして、国民の知る権利が奪われ、秘密と知

らないまま秘密に近づけば、一般国民や報道機関までもが厳しく処罰されるおそれのある法律である。法案が成立した後でも、これまで86の議会が意見書を可決しており「地方議会が法律が制定後に、これほど多くの異論が出るのは極めて異例」と全国紙で報じられている。市民・請願者の願意をしっかりと受け止め、請願は採択すべきである。

# 平成26年度 予算審査行われる！

## 予算審査特別委員会 一般会計

3月11日

### 歳出

#### 総務費

**質問** 男女共同参画推進委員会講師謝礼は。

**答弁** 会議は6回、1回当たり3万円。

**質問** 区長報酬の算定基準は。

**答弁** 区長報酬の算定方法は、均等割は、2万3千円で、一世帯あたり1800円を加算する。

**質問** 区長も多忙になり責任も大きくなっている、報酬の見直す考えはないか。

**答弁** 区長にお願いしていることが増えている。見直すべきか、26年

度中に検討したい。

**質問** 合併振興基金補助金は何件予測しているのか。

**答弁** 例年どおり40件程度考えている。

**質問** 今まで利用していない区はどれぐらいか。

**答弁** 30件くらいある。

**質問** デマンドタクシーの利用度を上げるといふ点で、どういふ見方をしているのか。

**答弁** 現在一日平均180人程度利用している、日曜・祝日は今年から運行したが、伸びなかった。築地・中条エリアは午前中の予約が多い、本年は増使した。

#### 民生費

**質問** 地域支え合い活動推進事業補助金と申し込みは。

**答弁** 例年4、5自治会で上限が70万円。

**質問** 良く利用するところ、少ないところがある、行政の手助けが必要と思うが。

**答弁** 補助金であるので、基本的には自発的に申告してほしい。要望があれば相談のつていきたい。

**質問** 中条すこやかこども園、予定人数は。

**答弁** H26年度、当初の受け入れとして、保育園籍110人、幼稚園籍50人。計160人。

**質問** 塩の湯温泉の修理費の中身は。

**答弁** 脱衣所の床の張替工事、温泉供給ポンプの取替工事、冷却ポンプの取替工事、休憩室の熱交換機器の取替工事。

**質問** 生活保護費が昨年度より増えている。胎内市の生活保護世帯の推移は、認定のやり方はどうしているのか。

**答弁** 最近の数値で、受給者143人、116世帯、人数の割合は、胎内市は0・45%である。県は0・9%、国は1・6%程度である。認定は、国の基準で定める最低限度の生活費に満ちているかどうか、その他もろもろの周辺環境を尋ねたうえで、最終的に保護の決定をしている。



補助金を利用した山車の修繕



### 衛生費

**質問** PCB汚染処理委託料は、市で保管しているものの処理なのか、これで全部処理が終わるのか。市の在庫と処理状況は。

**答弁** 市役所と支所に保管している蛍光灯とトランスで全部。各事業者は事業所で処理している。

**質問** 特定不妊治療費助成金について、県では条件を設けているが、市の場合はどうか。

**答弁** これまで8万円であったものを倍に拡大した。要件についても制限を設けず、広く助成支援していく方針。

**質問** 保健推進委員は何人いるのか。

**答弁** 各町内・集落に一人ずつ。大きい集落は2人というケースもある。

**質問** にこ楽・胎内のH26年度の活動計画は。

**答弁** これまでのウォーキングイベント、料理教室、各種講演会に加えて、自然環境に恵まれているので、長所を伸ばして活用したい。

**質問** 各種がん検診の中の乳がん検診の無料クーポンの内容は。

**答弁** 40〜60歳までの5歳刻みで無料クーポンを出して、受診率向上につなげる方針をとっている。

**質問** 予防接種費用が昨年度と比べ減っている理由は。

**答弁** 実績を勘案しながらである。インフルエンザ流行等必要に応じて補正をお願いする。

### 農林水産費

**質問** 甘草栽培は漢方で製薬会社との契約かと思うが、販路拡大はどこの業務を委託しているのか。

**答弁** 甘草栽培販売拡大商品開発業務委託料は、委託先はNPO法人もつと胎内応援隊である。甘草を入れた商品の開発で、将来胎内市で本格栽培されたときに商品化できるように委託している。

**質問** 甘草の規模拡大はどれぐらい見込んでいるのか。

**答弁** 今年の作付けは17・5a程度。

**質問** 奨励金まで出して葉タバコ農家を減らしたのに、いまなお葉タバコ

バコ振興事業補助金とはどういうことか。

**答弁** 築地地区2ヶ所の共同乾燥施設に、1ヶ所30万円ずつ補助している。現在も県下でもっとも栽培が多いのは胎内市で100haを超えている。

**質問** 狩猟免許取得補助金について、狩猟者が減っていることについてどのように考えているのか。

**答弁** 猟友会の方全員は、講習会を受けなくとも免許更新ができることになっているので、制度を活用してほしい。

**質問** 後継者をいかに育てるか、市職員が免許を取って対応するという意見もあるが。

**答弁** 高齢化が進めば、そういう時代も来ると思う。

**質問** 新潟製粉出資金とは。

**答弁** 胎内市が1,500万円、残り半分は農協等である。国の農業政策が転作5年後に見直すとの話がある。そのため新潟製粉を盤石な経営体質強化するため。

**質問** 農産物直売所新設工事の内容は。

**答弁** JAの合併に伴い、地域の農業振興を考え、黒川支所前の自転車小屋の一部を改装。

**質問** 松塚漁港開港、胎内市何隻、新発田市何隻、管理費は。

**答弁** 船は胎内市29隻、新発田市62隻、管理費は360万円。



## 商工費

**質問** 商工会補助金とプレミアム商品券補助金があるが、取扱店では手数料がかかる、4月から消費税も上がる、商工会の自助努力で、手数料を無料にできるように働きかけは。

**答弁** プレミアム商品券事業は実行委員会で協議しながら進めている。手数料は額面の0・5%もらっている。今の意見は商工会事務局に伝えたい。

**質問** 中条駅の観光案内運営委託で年間売上げはいくらか。

**答弁** 年間200万円。

## 土木費

**質問** 工事請負費、地域からの要望があつて予算計上されるが、要望が満たされていない。現在も故障中のもの、壊れているのも直せない。優先度、緊急度に納得できない。

**答弁** 地域整備課への工事業望関係について、H17年度からH25年度で234件きている。うち処理件数9件である。緊急性、必要性、

財政面を考慮して予算計上している。予算計上後に発生したものは、来年度早々対応する。

**質問** 防雪ネット等設置、撤去委託料とあるが、H26年度新規の予定は。

**答弁** 2ヶ所で、築地・鷹の巣線1ヶ所と菅田集落の近く。

**質問** 住宅リフォーム補助金について、今年度は上限15万円に上がったが、目標軒数は。

**答弁** 百数十件分。

**質問** 土木費全体で昨年度比1・9%の増だが、建設資材も上がるし、労務単価も上がっている状況で、どのように予算編成したのか。

**答弁** 積算の中で、消費税等勘案している。



消防団秋季総合演習

## 消防費

**質問** 需用費の食糧費の内容は。

**答弁** 9月1日開催の防災訓練の備蓄用食料宣伝用の食糧費。

**質問** 胎内市で備蓄している食料はどれぐらいか。

**答弁** 5,000食程度備蓄している。

**質問** 自主防災組織補助金の内容は。

**答弁** 自主的に行う備品の購入に対し、補助金を交付している。

## 教育費

**質問** 工事請負費の内容は。

**答弁** 黒川中学校の暖房機更新工事。築地中学校の雨漏対策工事。

**質問** 新発田中央高校の補助金が予算計上されているのに、開志国際高校へ地元として補助金は必要なのか。

**答弁** 現段階で相談はない。相談があれば、議会とも相談のうえ判断したい。

**質問** 地元として応援して行く体制を整えてはどうか。

**答弁** 学校の運営状況を見ながら判断したい。

**質問** 新規として図書館司書による学校巡回指導をやるというが、小学校5校、中学校4校、どれぐらいのペースで行われるのか。

**答弁** 司書の資格のある人、2名募集しており、2人体制で週1回ほど巡回指導を予定している。

**質問** 消費税が上がることにより、給食費はいくら上がるのか。

**答弁** 小学校で1食、275円が282円に、中学校319円が328円になる。

**質問** 指導主事4名体制になるが、具体的にどのように学力向上を目指すのか。

**答弁** 本年は指導主事の先進地視察も含め、学習指導の先生に対して研修と、定期的な指導主事による授業の参観、指導により学力向上に努めたい。

**質問** 指導主事の学校へ行く機会を増やしてほしい。

**答弁** 指導主事が増えることにより、複数体制で学校訪問ができるようになってくると考えている。



開志国際高等学校

# 歳入

**質問** 個人市民税の中でそれぞれの分類、構成比は。

**答弁** 所得金額の構成比は、給与所得者が83・5%、営業者の所得者は3・8%、農業所得者は2・2%、その他10・5%である。

**質問** 土地評価が下がっている中で、固定資産税が上がっているのはなぜか。

**答弁** 土地は下がっているが、家屋の新増築の増、企業の設備投資の増を見込んでいる。



# 反対討論

丸山 孝博 議員

予算規模は増額したが、これは総合体育館や学校給食センター、中条駅西口整備などの大型事業によるもので、そのため、市債を前年度の2倍、歳入全体の18・3%にあたる29億6千330万円、財政調整基金2億5千万円の取り崩しや市職員の大幅削減で、1億3千600万円などをあて、対応している内容の予算である。

市債残の見込みは、204億5千  
 予算規模は増額したが、これは総合体育館や学校給食センター、中条駅西口整備などの大型事業によるもので、そのため、市債を前年度の2倍、歳入全体の18・3%にあたる29億6千330万円、財政調整基金2億5千万円の取り崩しや市職員の大幅削減で、1億3千600万円などをあて、対応している内容の予算である。

# 討論 平成26年度一般会計予算

# 賛成討論

八幡 行雄 議員

合併後9年をむかえ新市建設計画も最終となることから積極的予算が編成されている。

特に本年は、総合体育館建設、統合学校給食センター建設、中条駅西口の整備等長年の市民の要望の実現に向け本格的スタートの年となった。景気対策としては、プレミアム商

品券の補助金、住宅リフォーム補助金が拡充しての予算計上されるなど細かいところまで気配りされている。経常経費についても、人件費、扶

限られた財源をバランスよく諸施策に配分し、編成された本予算を評価すると共に、本予算の執行が市民の福祉の向上と地域経済の活性化に何よりも大切なものであり、必要なものと考え、賛成する。

# 予算審査特別委員会 特別会計

3月12日

## 主な質疑

### 国民健康保険事業

**質問** 高額療養費が伸びているという説明であったが、昨年より予算を少なく見積った理由は。

**答弁** 被保険者数が減っているため。

**質問** 健康診断の受診率が低い。医師にかかっているからというのと、健康だから、面倒くさい、忙しい等の理由である。

**答弁** ジェネリック薬品にした場合医療費がいくら違うのか試算しているのか。

**質問** 個人にはどれだけ節約なるか差額を通知しているが、トータルで市民に周知出来るようにしたい。

**答弁** 個人にはどれだけ節約なるか差額を通知しているが、トータルで市民に周知出来るようにしたい。

**質問** 国保税は今年据え置きか。

**答弁** 国保財政は厳しいが、現段階では据え置きで検討している。

## 介護保険事業

**質問** 介護予防で胎内市はウォーキングに力を入れているとのことだがどのように実施されているのか。

**答弁** よりよい生活習慣、運動習慣を確立しようと計画し、介護予防に限らず広く健康作りとして進めている。

**質問** ただ歩けば良いという事ではない、専門的な指導も必要ではないか。

**答弁** 昨年度、機能的に歩くためのノルディックウォーキングを実施した。又専門家の指導も広めて行きたい。

**質問** ノルディックウォーキングとはどういったものか。

**答弁** ストックをついて歩くもの。バランスがとりやすく転びにくい。

**質問** 地域介護支援事業は、何ヶ所あるのか。

**答弁** 地域の茶の間、サロンで、52ヶ所ある。

**質問** H25年度の介護認定者数は、又H26年度の見通しは。

**答弁** 1月の状況で認定者数は1,682人で利用者は1,400人、施設入所サービスは632人が利用し、今後はふえるとみている。

**質問** 認知症支援には、在宅、見守りといろいろあるが、まとめて取り組めないのか。又認知症は何人位か。

**答弁** 一緒に展開することが大事と考えている。認知症とみられる人は約1,200人である。

**質問** 認知症は大きな問題である。今後の取組みは。

**答弁** 認知症の疑いがある場合、家族が気づき、かかりつけ医、専門医に見てもらい早めの対策、周知が重要である。

## 黒川診療所運営事業

**質問** 今後の具体的な運営内容は。

**答弁** 週3日は一人の先生、残り2日は県立病院、新潟市内の病院の計3名の医師で交代で運営する方向である。

**質問** この体制で何年いけるのか。

**答弁** 着任いただける医師を探しながら今後取り組んで行きたい。



## 後期高齢者医療保険

**質問** 75才以上でも現役なみの所得があれば3割負担となるが何人位か。

**答弁** 約130人である。



### 農業集落排水事業

**質問** 接続推進員2名、接続率80%をめざすとしているがどうか。

**答弁** 公共下水道1名、農業集落排水1名の計2名体制で何回も回り意識を高めてもらう。

**質問** 受益者負担金の未納はどれ位あるのか。

**答弁** 285万円である。

### 簡易水道事業

**質問** 簡易水道と上水道の基本料金は。

**答弁** 上水道は1㎡あたり200円、簡易水道140円である。

**質問** 同じサービスで料金が違うが統合は考えないのか。

**答弁** 大きな問題であり、考えなければならぬ。

### 観光事業

**質問** 樽ヶ橋遊園入場料を増と見込んだ理由は。

**答弁** アルパカ効果もあり、小動物とのふれあいも人気があり入場者数が増えている。

**質問** アウレツツ館、H26年度はどのような誘致を考えているか。

**答弁** グリーンツーリズムの關係で東洋大学と連携し、大学のゼミ、合宿を誘致する。



### 地域産業振興事業

**質問** ワインのH26年度時の在庫数とそれに対するの販売戦略は。

**答弁** 1月末現在2万2,427本。昨年国内ワインコンテストで金賞を取り、160%、170%の売上げになっている。知名度も上がって関東方面からも購入希望がある。

**質問** 今後は金賞をとっても販売について戦略が必要と思うがどうか。

**答弁** 県酒販とも協議しながら進めて行きたい。

### 鹿ノ俣発電所運営事業

**質問** 年間どれ位の稼働率を見込んでいるのか。

**答弁** 過去5年間の平均値で見込んでいる。

## 予算審査特別委員会

# 公営企業会計

3月13日

### 主な質疑

#### 公共下水道事業

**質問** 浄化センターの悪臭対策はとっているか。

**答弁** 対策は取ってきている。最近苦情もなくなっていると思う。

**質問** 接続率が限りなく100%に近くなった場合に、一般会計よりの補助金はどれ位で済むか試算しているか。

**答弁** 今までは、交付税算入分を繰り入れているので、一般会計そのものには影響はなかった。

#### 水道事業

**質問** 胎内市の水道料金は近隣の中でも高い。長期展望は。

**答弁** 料金が高い事は把握している。荒川表流水導入が大きく影響している。起債が終るH37年頃値下げで試算出来ると思う。

#### 工業用水道事業

**質問** 今後の計画についても工業用水を使う見込みもない。どのような見通しを持っているのか。

**答弁** 3月末で県の土地になるので県と十分協議しながらやっていく。





### 6月定例議会日程 (予定)

6月

- 6日 議会運営委員会
- 13日 本会議 (初日)
- 17日 総務文教常任委員会
- 18日 厚生環境常任委員会
- 19日 産業観光常任委員会
- 20日 まちづくり常任委員会
- 26・27日 本会議 (一般質問) ※
- 30日 本会議 (最終日)

※通告数により27日の一般質問は休会になることがあります。



築地小学校 六年生  
小林 愛 さんの作品です。

築地小学校は、創立13年目を迎え、「学び合い 認め合い 鍛え合う子」を目標にがんばっています。私たちは、すべての活動をチャンスと考え、一生懸命にチャレンジし、そして、自分をよりよくチェンジできるよう、取り組んでいます。みんなでめざそう！自己ベスト。そして、その先にある新たな自分を見つけていきます。



## 市民と議会

### 意見交換会開催

胎内市議会では議会基本条例を制定し、市民に開かれた議会、市民とともに歩む議会を目指し、第2回意見交換会を開催いたしますので、多数のご参加をお願いいたします。当日は、参考資料として本紙「胎内市議会だより」38号をご持参願います。

日時 平成26年5月16日

午後7時～8時30分

#### ●1班会場 黒川地区公民館

- 渡辺 俊 ・ 薄田 智
- 桐生清太郎 ・ 小林 兼由
- 新治ひで子

#### ●2班会場 築地農村環境改善センター

- 菅原 市永 ・ 松浦富士夫
- 森田 幸衛 ・ 富樫 誠

#### ●3班会場 乙総合福祉センター

- 渡辺 宏行 ・ 高橋 政実
- 天木 義人 ・ 八幡 行雄

#### ●4班会場 産業文化会館

- 花野矢次兵衛 ・ 松井 恒雄
- 赤塚 タイ ・ 丸山 孝博
- 佐藤 秀夫

※最寄りの会場へお越しください。

#### 開催内容

- (1) 第一回定例議会の審議内容を報告
- (2) テーマ

①人口減少・少子化対策の現状と今後の課題

②地域の課題について

### 編集後記

昨年、2020年の東京オリンピックの開催が決定した。若い太田雄貴選手、パラリンピック佐藤真海選手、一躍世界に「日本のおもてなし」を広め、東京オリンピックを決めた滝川クリステルの誘致活動。若いエネルギーと世界にチャレンジするパワーを感じた。

今年に入って冬季オリンピックが開催された。今までは、オリンピックとは縁のなかった新潟県下越地区に異変が起こった。平野歩夢選手の銀メダル、新発田市役所勤務の出来島桃子選手の4種目入賞である。出場するにも夢のまた夢なのに・・・胎内市も期待と若者の奮起を望む。タイミングも良く本年は、総合体育館建設、それに、平野歩夢選手が入学の開志国際高校の開校、胎内市が飛躍するには最高のチャンス到来である。市民全体でオリンピックを意識し、世界を身近にさせる行政の手腕に期待したい。(文責 八幡行雄)